

SWE-0008F5

User? & Manual

User's Manual Version : SWE-0008F5_manual_V1.pdf

使用前に必ずお読みください

■本書の目的

この度は、SWE-0008F5 をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、本製品を正しくお使いいただ くための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただくために、大切に保管していただきますようお願いいたし ます。

■ご注意

- ・本製品の故障・誤作動・不具合・通信不良、停電・落雷などの外的要因、第三者による妨害行為などの要因によって、通信機会を逃したために生じた損害などの経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- ・通信内容や保持情報の漏洩、改ざん、破壊などによる経済的・精神的損害につきましては、当社は一切その責 任を負いかねます。
- ・本製品は、一般家庭や小規模事業所におけるブロードバンド環境下での利用を前提にしています。物理的・論 理的に規模の大きなネットワークや、一般的ではない環境または目的で本製品を使用した場合、正常に動作し ない可能性があります。
- ・本製品のパッケージ等に記載されている性能値(スループット)は、当社試験環境下での参考測定値であり、 お客様環境下での性能を保証するものではありません。また、バージョンアップ等により予告無く性能が上下 することがあります。
- ・ハードウェア、ソフトウェア(ファームウェア)、外観に関しては、将来予告なく変更されることがあります。
- ・本製品内部のソフトウェア(ファームウェア)更新ファイル公開を通じた修正や機能追加は、お客様サービス の一環として随時提供しているものです。内容や提供時期に関しての保証は一切ありません。
- 一般的に、インターネットなどの公衆網の利用に際しては、通信事業者との契約が必要になります。
- ・通信事業者によっては公衆網に接続可能な端末台数を制限、あるいは台数に応じた料金を設定している場合が ありますので、通信事業者との契約内容をご確認ください。
- ・輸送費、設定、調整、設置工事などは、お客様負担となります。
- ・本製品は日本の国内法(電気用品安全法・電波法等)のもとで利用可能な製品であるため、別途定める保証規 定は日本国内でのみ有効です。海外での利用はできません。また、本製品ご利用の際は各地域の法令や政令な どによって利用の禁止や制限がなされていないかご確認してください。
- ・本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。

■著作権等

- ・ ユーザーズ・マニュアルに関する著作権は、プラネックスコミュニケーションズ株式会社に帰属します。ユー ザーズ・マニュアルの記載内容の一部、または全部を転載または複製することを禁じます。
- ・ユーザーズ・マニュアルの記述に関する、不明な点や誤りなどございましたら、弊社までご連絡ください。
- ・ユーザーズ・マニュアルの記載内容は、将来予告なく変更されることがあります。

■マニュアル内の表記について

本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。区別が必要な場合は製品型番で表記します。

■記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

本製品を安全にご利用いただくために

本製品のご利用に際して、以下の警告および注意をご覧いただき必ずお守りください。これらの事項が守られ ないとき、「**感電」「火災」「故障」**などが発生する場合があります。

これによって本製品を利用される方が負傷されたり死亡につながる恐れがあります。また、万一「**発火」「発煙」** 「**溶解」**などが発生した場合には速やかに本製品の利用を中止し、弊社サポートセンターへ連絡するようお願 いいたします。

∕≜警告

■設置及び保管に関して

- 動作環境範囲外で本製品をご利用にならないでください。
 範囲外の温度や湿度の環境でご利用になることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの
 原因となる恐れがあります。
- ・直射日光の当たる場所や暖房器具の近くで本製品をご利用にならないでください。
 本製品が加熱することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・温度変化の激しい場所で本製品をご利用にならないでください。
 動作範囲内の温度であっても温度変化が激しい場所でご利用することで、結露などが原因で感電、火災などの 発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- 本製品の近くに液体が入った容器を置かないでください。
 本製品に液体がこぼれることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- パソコンの取り付け口に異物などが混入しているときは取り除いてください。
 パソコンの取り付け口に異物が混入した状態で本製品を取り付けることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- 本製品を分解、改造しないでください。
 本製品を分解または改造することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。また改造は法律で禁止されています。
- ・必ず付属の専用電源ケーブルを使用してください。
 付属品または指定以外の電源ケーブルの使用は発煙、感電、火災、または製品の誤作動や故障などの原因になります。
- ・付属品の専用電源ケーブルを他の機器に転用しないでください。 発煙、感電、火災、または製品の誤作動や故障などの原因になります。
- ・電源ケーブルの取り扱いを守って下さい。
 電源ケーブルに加熱や無理な曲げ、引っ張ったりするなどといった行為はしないでください。発煙、感電、火災、または製品の誤作動や故障などの原因になります。また、電源ケーブルを抜くときは必ずプラグを持って抜いて下さい。

■取り扱いに関して

- 高温に注意してください。
 本製品の使用中は高温になっている恐れがあります。不用意に触ると火傷の恐れがあります。
- ・湿気やほこりの多いところに保管しないでください。
 湿気やほこりの多いところに保管することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- 本製品を重ねて設置しないでください。
 本製品を重ねて設置することで製品が加熱し、感電、火災などの発生、または本製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・ 振動の多い場所や不安定な場所で本製品をご利用にならないでください。

振動の多い場所や不安定な場所で本製品をご利用になることで、本製品の落下、誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

- 静電気に注意してください。
 本製品は精密機器です。静電気の影響によって、製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。本製品を取り付ける際は、コネクタや取り付け部分を触れないなどの注意をしてください。
- ・ 落下や衝撃に注意してください。
 本製品に落下や衝撃を与えることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

■その他

 ・ご利用のパソコンのデータのバックアップを取得してください。
 本製品のご利用にかかわらず、パソコンのデータのバックアップを定期的に取得してください。万一不測の事態 が発生し不用意なデータの消失や復旧が不可能な状態に陥ったとき回避策になります。なお、本製品のご利用に 際しデータ消失などの障害が発生しても、弊社では保証いたしかねることをあらかじめご了承ください。

<u>目次</u>

	1
各部の名称とはたらき	2
本製品前面	2
本製品背面	2
WEB 設定機能概要	3
WEB インターフェース接続手順	4
STEP1	4
STEP2	4
STEP3	4
STEP4	5
Administrator	6
Authentication Configuration	6
System IP Configuration	7
System Status	7
Load Default setting	8
Firmware Update	8
Reboot Device	9
Port Management	10
Port Configuration	10
Port Mirroring	11
Bandwidth Control	11
Broadcast Storm Control	12
PoE	12
VLAN Setting	13
VLAN Mode	13
VLAN Member	14
Multi to 2 Setting	14
Per Port Counter	15
QoS Setting	16
Priority Mode	16
Class of Service	17
Security	19
MAC Address Binding	19
TCP 🗡 UDP Filter	20
Spanning Tree	21
STP Bridge Settings	21
STP Port Settings	22
Trunking	23
Link Aggregation Settings	23
Backup/Recovery	24
バックアップ	24
リカバリ	24
Miscellaneous	25
Miscellaneous Setting	25
Logout	26
製品仕様	27
ユーザ登録について	29
弊社へのお問い合わせ	29

同梱物の確認

パッケージに次の付属品が含まれていることを確認してください。

- SWE-0008F5 本体
- 電源ケーブル
- ラックマウント金具(ネジ付属)
- ゴム足
- 安全に関する説明書
- 保証書

同梱物に破損または欠品があるときは、お手数ですが販売店または弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

各部の名称とはたらき

本製品前面



LED	Status	内容
Power	点灯	電源が入っています。
	消灯	電源が入っていません。
	点灯	該当する番号の LAN ポートがリンクアップしています。
Link/Act	消灯	該当する番号の LAN ポートがリンクアップしていません。
	点滅	該当する番号の LAN ポートが通信しています。
PoE	点灯	該当する LAN ポートで、PoE 給電を行っています。
	消灯	該当する LAN ポートで、PoE 給電を行っていません。

スイッチ	·····································
	本製品を工場出荷時設定に戻します。
Reset	1. 本製品に電源を入れます。
	2. 「Reset スイッチ」を 5 秒以上押して離します。
	3. 本製品が再起動し、工場出荷時の状態に戻ります。

本製品背面



WEB 設定機能概要

本製品は初期状態で「192.168.2.1」の IP アドレスが設定されています。お使いのネットワークに導入する前に、同じ IP アドレスを使っている機器が他にないことを確認してください。

他に同じ IP アドレスを使っている機器があるときは、本製品の IP アドレスを変更してから、お使いのネットワークへ導入してください。

本製品の WEB インターフェースから設定を行う為には、設定用パソコンの IP アドレスを本製品の初期状態「192.168.2.1」と通信できる値(192.168.2.2 ~ 192.168.2.254)に変更する必要があります。 設定用パソコンの IP アドレス変更方法は、お使いのパソコンの取扱説明書をご確認ください。

WEB インターフェース接続手順

STEP1

設定用パソコンの IP アドレスを 192.168.2.2 ~ 192.168.2.254 の範囲内に変更し、本製品と LAN ケーブルで接続します。

本製品初期値は次の IP アドレス サブネットマスク)通りです。 : 192.168.2.1 255.255.255.0	
注意 : このと	き他の機器、装置を取り付けないでください。	1
 □ ーカル エリア接続のプロパティ ネットワーク 撮続の方法 ※ Realtek PCIe GBE Family Controlle この接続はたの項目を使用します(の) ○ Microsoft ネットワーク用クライアント ○ Microsoft ネットワーク用クライアント ○ Microsoft ネットワーク用ファイルとア ○ Microsoft ネット フロトコ バージョン 6 ○ All All All All All All All All All Al	Iter マンターネット ブロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)のブロバティ 2 ** 全般 マトワークでこの場性能がサポードされている場合は、PP BB定を自動的に取得することがですことがですことだです。 ************************************	

STEP2

設定用パソコンの WEB ブラウザ(InternetExplorer 等)を起動し、アドレス欄に本製品の IP アドレス「192.168.2.1」を入力します。

STEP3

以下のようなログイン画面が表示されますので、「ID」と「Password」を入力し、[OK] をクリックします。 初期値は、ID が「**admin**」、Password が「**admin**」です。

USER	LOG IN	
Site:	192.168.2.1	
ID:		
Passwor	d:	
	ОК	
主意 まれ タン	:IP アドレスや、ID、Password を そ、変更した IP アドレス、ID、Passw ンを押して初期化してください。操作	変更した場合は、それぞれ変更した値を入力してください。 rord を初期値に戻す場合はハードウェアの Reset ボ 応法は P2 を参照してください。

STEP4

ログインに成功すると、以下のページが開きます。

Administrator		P Port 10/100Mbps Ethernet Switch	
er Port Management	8-Port to roompys Enternet Switch		
VLAN Setting			
Per Port Counter	Advanced Features	Basic Features	
QoS Setting	Bandwidth control	 Embedded HTTP web management 	
Security	Port based & 802 10 based VLAN	Upload/Download configuration	
Spanning Tree	 Statistics counter 	 Upgrade through TETP & HTTP 	
> Trunking	Firewall	 Security management 	
Backup Recovery	 POE Power on/off function 	 Password security 	
Buckup/Recovery			
# miscellaneous			
Logout			

本製品では以下の11項目の設定を行うことができます。

本製品の設定画面では、左側に設定項目を表示し、右側のメイン画面に設定値を入力することで、本製品を設定します。

Administrator 本製品の IP アドレスや ID など、管理機能に関する設定を行います。 Port Management 本製品のポート速度等、物理的インターフェースに関する設定を行います。 VLAN Setting 本製品の VLAN 機能に関する設定を行います。 • Per Port Counter 接続しているポートの送信・受信パケットのステータスが確認できます。 QoS Setting 本製品の優先制御機能に関する設定を行います。 Security 本製品が対応するセキュリティ機能に関する設定を行います。 Spanning Tree 本製品のスパニングツリー機能に関する設定を行います。 Trunking 本製品の Trunk 機能に関する設定を行います。 Backup/Recovery 設定情報のバックアップ・読み込みを行います。 Miscellaneous その他の機能に関する設定を行います。 Logout 本製品の WEB インターフェースからログアウトします。 それぞれの設定項目を選択すると、さらに詳細な設定項目が表示されます。それぞれの設定方法に関しては、次項 以降を参照してください。

Administrator

本製品の IP アドレスや ID など、管理機能に関する設定を行います。

本設定階層には、さらに以下の6項目の階層があります。

- Authentication Configuration
- System IP Configuration
- System Status
- Load Default setting
- Firmware Update
- Reboot Device

Authentication Configuration

ここではログイン画面で入力する ID やパスワードを変更することができます。

- 「Username」にはログイン画面で使用する「ID」を入力します。 (初期設定は「admin」です)
- ②「Password Confirm」にはログイン画面で使用するパスワードを入力します。パスワードは確認のため、2 つの入力欄に同じものを入力します。
 (初期設定は「admin」です)
- ③ 設定を変更したら、[Update] をクリックします。
- ④ 「Update Successfully!!」が表示されたら、「Reboot」をクリックし本製品を再起動します。再起動後に設定 が反映されます。

 Authentication Configuration 		onfiguration	
Configuration			
 System IP Configuration 	Setting	Value	
System Status	Username	admin max:15	
Load default setting			
Firmware Update Reheat Device	Password	••••• max:15	
• Report Device	Confirm	•••••	
Port Management		Update	
PLAN Setting	Note:		
Per Port Counter	Username & Password ca	n only use "a-z","A-Z","0-9","_","+","-","=".	
yos seung			
Security			
Spanning Tree			
Trunking			
Backup/Recovery			
Miscellaneous			
Logout			

System IP Configuration

```
ここでは本製品の IP アドレスを変更することができます。
```

① 手動設定にするときは、「Static」を選び、IP アドレス・サブネットマスク・デフォルトゲートウェイを入力 します。

```
自動取得にするときは、「DHCP」を選びます。
```

初期設定は以下のように設定されています。

- IP Address : 192.168.2.1
- Subnet Mask : 255.255.255.0
- Gateway : 192.168.2.254
- ・IP Configure : Static (手動設定)
- ② 設定値を入力後、[Update] をクリックしてください。
- ③ 「Update Successfully!!」が表示されたら、「Reboot」をクリックし本製品を再起動します。再起動後に設定 が反映されます。

Administrator	System IP Configura	tion	
 Authentication Configuration 			
 System IP Configuration 	Setting	Value	
 System Status 	IP Address	192 168 2 1	
 Load default setting Firmware Lindate 	Subnet Mask	255 255 0	
 Reboot Device 	Gatoway	192 168 2 254	
ort Management		102,100, 2, 204	
LAN Setting	IP Configure	● Static ◎ DHCP	
er Port Counter		Update	
oS Setting	Note:		
ecurity	"127.0.01".		
panning Tree	~127.*.** [*] ,		
runking	"0.0.0.0", " ***0"		
ackup/Recovery	~*.*.*255~,		
liscellaneous	and Greater than 223.*.*.*		
ogout			
・		今日 ぶずメモたどに控えて	ください

System Status

ここでは MAC アドレスやシステムのバージョンを確認することができます。表示される情報は本製品のテクニカルサポートをご利用頂くとき必要になります。

* Administrator	System Status		
 Authentication Configuration 			
 System IP Configuration 	MAC Address	10120 -F02 46-40	
System Status	Number of Ports	8	
 Load default setting Firmware Update 	System Version	1000 CONTRACTOR	
Reboot Device		Idle Time.0 (1~30 Minutes)	
 Port Management VLAN Setting 	Idle Time Security	 Auto Logout(Default). 	
Per Port Counter		 Back to the last display. 	
QoS Setting		Update	
Security			1
Spanning Tree			
Trunking			
Backup/Recovery			
Miscellaneous			
Logout			

Load Default setting

ここでは本製品の設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。

- ① [Load] をクリックします。
- ② 「Update Successfully!!」が表示されたら、「Reboot」をクリックし本製品を再起動します。再起動後に設定 が工場出荷時の状態に戻ります。

注意 : 変更した IP アドレス、ID、Password を初期値に戻す場合はハードウェアの Reset ボタンを 押して初期化してください。操作方法は P2 を参照してください。

→ Administrator		
 Authentication Configuration 	Load Default Setting	
System IP Configuration		
 System Status 		
Load default setting	Load	
Firmware Update		
Reboot Device		
Port Management		
VLAN Setting		
Per Port Counter		
QoS Setting		
Security		
Spanning Tree		
Trunking		
Backup/Recovery		
Miscellaneous		
Logout		

Firmware Update

ここでは本製品のファームウェアを更新することができます。ファームウェア更新を実行するときは、本製品に設定されているパスワードを2つの入力欄に入力し、[Update]をクリックします。



Reboot Device

ここでは本製品を再起動します。 再起動するときは[Confirm]をクリックします。

Reboot Device:
Click "Confirm" to Reboot the Device Confirm

Port Management

本製品のポート速度等、インターフェースに関する設定ができます。

本設定階層には、さらに以下の5項目の階層があります。

- Port Configuration
- Port Mirroring
- Bandwidth Control
- Broadcast Storm Control
- PoE

Port Configuration

ここでは本製品の LAN ポートの設定ができます。設定を変更するときは以下の手順を行います。

- ① 「Auto (オートネゴシエーション)」より「Enable (有効)」/「Disable (無効)」を選びます。
- Speed」を「100M」/「10M」から選びます。
- ③ 「Duplex (通信モード)」を「Full」/「Half」から選びます。
- ④ 「Pause」より「Enable (有効)」/「Disable (無効)」を選びます。
- ⑤ 「Backpressure」より「Enable (有効)」/「Disable (無効)」を選びます。
- ⑥ 「Tx Capability」より「Enable (有効)」/「Disable (無効)」を選びます。
- ⑦ 「Addr. Learning」より「Enable (有効)」/「Disable (無効)」を選びます。
- ⑧ 変更するポートにチェックを入れます。
- ⑨ [Update] をクリックします。

 Administrator Port Management 	Port (Config	guratio	n									
Port Configuration Port Mirroring Bandwidth Control	Function		Auto	•	Speed	Duplex		Dause	Backp	ressure	Tx Capability	Addr	. Learning
Control	Select Port No				01 🗖	02 🔳	03 🔳	04 🔳	05 🔳	06 🔳 🛛)7 🗖 08 🗖		
VLAN Setting								Update					
 Per Port Counter QoS Setting 	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·												
Security			Curi	rent Status						Setting S	itatus		
 Spanning Tree Trunking 	Port	Link	Speed	Duple×	FlowCtrl	Auto-N	lego	Speed	Duplex	Pause	Backpressure	T× Cap	Addr. Learning
Backup/Recovery	1					Aute	>	100M	Full	On	On	On	On
Miscellaneous Logout	2					Auto	þ	100M	Full	On	On	On	On
-	3					Auto	þ	100M	Full	On	On	On	On
	4	٠	100M	Full	Off	Aute	c	100M	Full	On	On	On	On
	5					Aute	þ	100M	Full	On	On	On	On
	6					Auto	þ	100M	Full	On	On	On	On
	7					Aute	þ	100M	Full	On	On	On	On
	8					Aute	þ	100M	Full	On	On	On	On

Port Mirroring

ここではポートのミラーリングの設定ができます。本製品では特定のポートで受信または送信したパケットを他の ポートにコピー(ミラーリング)ができます。本製品では Rx(受信)、Tx(送信)、Rx & Tx(送受信)モードに対 応しています。

- ① 「Dest Port」よりパケットのコピー先となるポートを指定します。
- 「Monitored Packets」より、ミラーリングのモードを選びます。
 (「Disable (無効)」、「Rx (受信)」、「Tx (送信)」、「Tx&Rx (送受信)」)
- ③ 「Source Port」よりパケットのコピー元となるポートを指定します。
- ④ [Update] をクリックします。

Administrator Port Management	Port Mirroring								
Port Configuration									
Port Mirroring Bandwidth Control	Dest Port	1	2	3	4	5	6	7	8
 Broadcast Storm Control 	Monitored Packets	Disable 👻							
 POE VLAN Setting 	Source Port	1	2	3	4	5	6	7	8
Per Port Counter			Update				1	1	
QoS Setting Security	Multi to Multi Sniffer function								
Spanning Tree									
Trunking Backup/Recovery									
Miscellaneous									
> Logout									

Bandwidth Control

ここでは本製品の帯域制限(制御)に対する設定ができます。

- ① 「Port No」より制御するポート No. を選びます。
- 「Tx Rate Value」で選択したポートの送信速度を設定します。
 (指定帯域幅は 1~255 です。フルスピードのときは「0」を入力します。)
- ③「Rx Rate Value」で選択したポートの受信速度を設定します。
 (指定帯域幅は 1~255 です。フルスピードのときは「0」を入力します。)
- ④ 「Resolution」を「Low (32kbps)」、「High (512kbps)」から選びます。
- ⑤ [Update] をクリックします。

Administrator	Bandwi	dth Control										
😵 Port Management												
 Port Configuration Root Mirroring 	Port No		T× Rate Value			R×	Rate Value					
Bandwidth Control Broadcast Storm	01 👻	OI Bandwidth = X resolution. (0°19/195/255) Bandwidth = X resolution. (0°19/195/255) 0: Full speed. 1°19/195/255: Specified bandwidth. 0: Full speed. 1°19/195/255: Specified bandwidth.										
POE VLAN Setting Per Port Counter QoS Setting Security	Resolutio	Low 22kbps (1)) Rate value 1°255. High512kbps (1)) When link speed is 10M and the resolution is 512kbps, the Rate value should be 1°18. (2) When link speed is 100M and the resolution is 512kbps, the Rate value should be 1°18. All ports use the same bandwidth resolution.										
Spanning Tree				Update	LoadDefault							
P Trunking Reckup/Receivery	If the link sr	eed of selected port is lower	r than the rate that you setti	ng, this syste	n will use th	ne value of link speed as vour se	etting rate.					
Miscellaneous												
Logout												
	Port No	T× Rate(Kbps)	R× Rate(Kbps)	Link Speed	Port No	T× Rate(Kbps)	R× Rate(Kbps)	Link Speed				
	1	Full Speed	Full Speed		5	Full Speed	Full Speed					
	2	Full Speed	Full Speed		6	Full Speed	Full Speed					
	3	Full Speed	Full Speed		7	Full Speed	Full Speed					
	4	Full Speed	Full Speed	100M	8	Full Speed	Full Speed					

Broadcast Storm Control

ここではブロードキャストストームコントロール機能の設定ができます。

- ① 「Threshold」より、しきい値を「1」~「63」の中で設定します。
- ② 「Enable Port」でブロードキャストパケットを定義するポートを選びます。
- ③ [Update] をクリックします。

Administrator Port Management	Broadcast Storm C	ontrol							
 Port Configuration Port Mirroring 	Threshold					63 1~63			
 Bandwidth Control Broadcast Storm Control 	Enable Port	1	2	3	4	5	6	7	8
POE				Update					
VLAN Setting	This value indicates the number	r of broadcast paskets	which is allowed	to ontor cool		unit. One tim	o unit io EOO u	o for 100Mbpo o	nood and
Per Port Counter	5000us for 10Mbps speed	i oi bioaucasi packeti	which is allowed	no enter eac	in port in one time	unit. One tim	e unit is 500 u	s for Toomphs s	peed and
P QoS Setting	1								
Security									
Spanning Tree									
Trunking									
Backup/Recovery									
Miscellaneous									
Logout									

ΡοΕ

ここでは PoE 給電の有効 / 無効の設定と、給電状況を表示します。

- ① PoE 給電するポートを選びます。
- ② [Update] をクリックします。

Administrator Port Management	POE Configurati	on							
 Port Configuration Port Mirroring 									
Bandwidth Control	Port	01	02	03	04	05	06	07	08
Broadcast Storm Control	Enable	V	V	V	V	V			V
POE	PSE Current	No Load	No Load	No Load	No Load	No Load	No Load	No Load	No Load
VLAN Setting Per Port Counter	Minimun Output Power								
QoS Setting	POE Class								
Security			1		lodate	1	1	1	
Spanning Tree					opuate				
Trunking	Update: Update the power	r control funtion.							
Backup/Recovery	Enable Power On								
Miscellaneous	Enable								
> Logout									

 「PSE Current」 / 「Minimum Output Power」

 「POE Class」

「PSE Current」/「Minimum Output Power」 :ポート電流と最小出力電圧が表示されます。

: PoE ポートのクラスを検出します。

VLAN Setting

本製品の VLAN 機能に関する設定ができます。

本設定階層には、さらに以下の3項目の階層があります。

• VLAN Mode



Multi to 2 Setting

VLAN Mode

本製品には「Port Based VLAN」と「Tagged VLAN」の2つのモードがあります。 モードを切り替えるときは[Change VLAN mode]をクリックします。

注意 : 「Port Based VLAN」が有効のときは、「Multi to 2 setting」と「Tagged VLAN」が自動的に 無効になります。

Administrator	VLAN Mode
Port Management	
VLAN Setting	
VLAN Mode	VLAN Port Based VLAN Change VLAN mode
VLAN Member	mode
Multi to 2 Setting	
Per Port Counter	
QoS Setting	
Security	
Spanning Tree	
Trunking	
Backup/Recovery	
Miscellaneous	
> Logout	
-	
 PoS Setting Security Spanning Tree Trunking BackupRecovery Mscellaneous Logout 	

I.

VLAN Member

ここでは本製品の VLAN 機能を設定します。異なる VLAN グループに参加したポート、及びポートに接続した端末間での通信は遮断され、セキュリティを向上させることができます。

- ① 「Port」より VLAN グループの元となるポートを選びます。
- ② VLAN グループに参加するポートにチェックを入れます。
 ※チェックが外れているポートはパケットを遮断します。
- ③ [Update] をクリックします。
- ※ [LoadDefault] をクリックすると、設定値を初期状態に戻します。

Administrator	VLAN Member Setting (Po	rt Based)									
Port Management											-
VLAN Setting	Port					01 v Re	ad				1
VLAN Mode VLAN Member	Dest PORT		01	02	03	04	- 05	06	07	08	
Multi to 2 Setting	Mambar Salart	ion									•
Per Port Counter	Ivienitier Gelect	.011	v.		and Default	V	V	V	V		1
QoS Setting				opulate	LoadDerault						
Security											
Spanning Tree											ų l
Trunking				VLAN N	1EMBER						
Backup/Recovery	Port							_			L
Miscellaneous		1	2	3	4	5	6	/		8	
Logout	1	v	v	v	v	v	v	v		v	
	2	v	v	v	v	v	v	v		v	
	3	v	v	v	v	v	v	v		v	
	4	v	v	v	v	v	v	v		v	1
	5	v	v	v	v	v	v	v		v	
	6	v	v	v	v	v	v	v		v	
	7	v	v	v	v	v	v	v		v	1
	8	v	v	v	v	v	v	v		v	1
	Port	1	2	3	4	5	6	7		8	

Multi to 2 Setting

ここでは、**Multi to 2** という VLAN 機能の設定ができます。この機能は、「Destination Port No」として指定したポート番号以外のポート同士の全ての通信を停止させる機能です。

(例:インターネットマンションで部屋間の通信を遮断し、各部屋から共通のインターネット回線を利用するとき)

- 「Destination Port No」よりポートを指定します。
 ※最大2つまで指定ができます。
- ② 通信を停止するポートを選びます。
- ③ [Update] をクリックします。

Administrator	Multi to 2 Setting								
Port Management									
✓ VLAN Setting									
 VLAN Mode VLAN Member 	Destination PortNo				Home VLA	N 1: 01 👻			
 Multi to 2 Setting 	Deschartor Ford to				Home VLA	AN 2: 01 👻			
Per Port Counter	Current Setting				Port	- & -			
 QoS Setting Security 	Disable	01	02	03	04	05	06	07	08
Spanning Tree	Port				Up	date			
Trunking Backup/Recovery	1.A example for Multi-to-2 structure								
➢ Miscellaneous ➢ Logout	1 2. The original setting of the VLAN Group will be cleared a On the other hand, if you set the VLAN Group again, this	nd replaced b special struc	y this special ture will be cl	structure if y eared and rep	you enable th	is function. Ir newest sett	ing.		

Per Port Counter

接続しているポートの送信・受信パケットのステータスが確認できます。 [Refresh] をクリックするとステータスが更新されます。

Administrator Port Management	Counter Category		
VLAN Setting			1
> Per Port Counter	Counter	Vode Selection: Receive Packet & Transmit Packet	•
 Port Counter 	Port	Receive Packet	Transmit Packet
QoS Setting	01	0	0
* Security	02	0	0
Spanning Tree	03	0	0
> Trunking	04	1000	1715
P Backup/Recovery	04	1022	1715
r Miscellaneous	05	0	0
P Logout	06	0	0
	07	0	0
	08	0	0
		Refresh	
	Note: If Counter Mode is switched from the old one to a new one will be counted from zero.	one, the counter value of the old one w	ill be discarded. And the counter value of the new

QoS Setting

本製品の優先制御機能に関する設定ができます。

本設定階層には、さらに以下の2項目の階層があります。

• Priority Mode

Class of Service

Priority Mode

ここでは QoS 機能の優先度を設定します。

- ① 優先モードを選びます。
 - First-In-First-Service
 : 最初に受け取ったパケットをそのまま送信します。 (QoS が無効です)
 - All-High-before-Low
 : 全てのパケットを優先度の高いキュー(Q2)または優先度の低いキュー(Q1)に割り当てます。
 - : ラウンドロビン方式で「WRR」に設定されている値の比率 に従って、パケットを送信します。
- ② [Update] をクリックします。

• 4 Queue WRR (Weight-Round-Robin)

Administrator	iority Mode	
Port Management	···· , ···· ·	
> VLAN Setting		
Per Port Counter		
V QoS Setting	First-In-First-Service All-High-before-Low: All packets will be assigned to either Q2(High) priority or Q1(low) priority.	
Class of Service	© 4 Queue WRR	
> Security	WRR Q1: 8 • Q2: 8 • Q3: 8 • Q4: 8 •	
Spanning Tree	Update	
> Trunking		
Backup/Recovery		
Miscellaneous		
> Logout		

Class of Service

ここでは各ポートの QoS モードの設定ができます。

ここでの設定は以下のように優先されます。 「TCP/UDP port」>「IP TOS/DS」>「802.1p」>「Physical port」

- ① QoSモードを設定します。
 - TCP / UDP Port :「Q1」から「Q4」は選択されたポートが有効になります。
 「Drop」は全てのポートが有効になります。
 パケットキューは「Priority Mode」の「4 Queue WRR」で設定したキュー番号(「Q1」 、「Q2」、「Q3」、「Q4」)に転送されます。
 - ・IP TOS / DS : TOS 値ベースであるパケットが最初に転送されます。
 - ・802.1p : 優先されたマッピングテーブルが表示されます。
 - ・Physical port : 優先キュー(「Q1」、「Q2」、「Q3」、「Q4」)を構成したいポートを選びます。
- ② [Update] をクリックします。

Class of Service Port Management The switch treats TCP/UDP, IP TOS/DS, 802.1p and physical port CoS scheme in the following priority. TCP/UDP > IP TOS/DS > 802/1p > Physical port. This means TCP/UDP CoS will override all other settings. Priority Mode (1) TCP/UDP port Class of Service Note: (1) Q1 ~ Q4 options are effective for the selected physical port only. (2) "Drop" option is the global setting for all physical ports. Protocol FTP Q1 • Backup/Recovery • SSH Q1 TELNET Q1 • SMTP Q1 • Q1 DNS • Q1 -TETP HTTP Q1 -POP3 Q1 -Q1 • NEWS Q1 -SNTP NetBIOS Q1 . IMAP Q1 • Q1 SNMP • HTTPS Q1 -MSN Q1 -XRD_RDP Q1 -Q1 • QQ Q1 -ICQ Q1 -Yahoo BOOTP/ DHCP Q1 • User-defined A TCP/UDP Q1 -User-defined B TCP/UDP Q1 -User-defined C TCP/UDP Q1 -Note: These user defined TCP/UDP port are the same as that used in TCP/UDP filter User-defined User-defined A User-defined B User-defined C Port range (65535~1) Port ~ Port: Port: ~ Port: Port: ~ Port: The TCP/UDP port will be checked on the following physical port 06 08 01 02 03 04 05 07 Update The Class of Service for TCP/UDP port number allows the network administrator to assign the specific application to a priority queue. (2) IP TOS/DS 6'b001010: 01 • 6'b010010: 01 • 6'b011010: 01 • 6'b100010: 01 • 6'b101110: 01 • 6'b110000: 01 • 6'b110000: 01 • Other Values: 01 IP TOS/DS Priority Setting IP TOS/DS Port Setting 01 02 03 04 05 06 07 08 Update (3) 802.1p For 802.1p priority field, the switch utilizes the following priority mapping table. 6 and 7 are mapped to the "Q4" priority queue. 4 and 5 are mapped to the "Q3" priority queue. 0 and 3 are mapped to the "Q3" priority queue. 1 and 2 are mapped to the "Q1" priority queue. 802.1p Port No\Mode Port No\Mode 802.1p 1 5 2 6 3 7 4 8 Update (4) Physical port Q1 -1 5 Q1 🗸 Q1 -Q1 -2 6 3 Q1 -7 Q1 -4 Q1 -8 Q1 🔻

Update

Administrator

VLAN Setting

Security

Spanning Tree > Trunking

Miscellaneous

Logout

Per Port Counter QoS Setting

Security

本製品のセキュリティ機能に関する設定ができます。

本設定階層には、さらに以下の2項目の階層があります。

MAC Address Binding

• TCP / UDP Filter

MAC Address Binding

ここでは MAC アドレスによるセキュリティ設定を行います。

※ MAC アドレスを入力したポートはパケットを許可します。

- ① 「Select Port」よりポート番号を選び、[Read]をクリックします。
- ② 「Binding」より「Enable」を選び、MAC アドレスを入力します。
- ③ [Update] をクリックします。

 Administrator Port Management 	MAC Address Config	juration		
VLAN Setting	Dert No		MAC Address	
Per Port Counter	Polt No.		IMAC Address	
 Gos setting Security MAC Address Binding TCP/UDP Filter 	1		Read	
 Spanning Tree Trunking 		Select Port o1 - Bind	ding Disable 👻 Update	
Backup/Recovery Miscellaneous	Port No.	Filter Status	Port No.	Filter Status
Logout	1	Disable	5	Disable
	2	Disable	6	Disable
	3	Disable	7	Disable
	4	Disable	8	Disable

TCP / UDP Filter

ここでは TCP / UDP フィルタを設定します。

- ① 「Function Enable」より「Enable」を選び、TCP / UDP フィルタを有効にします。
- 以下よりポートフィルタルールを設定します。
 - ・Allow : 選択したプロトコルへの TCP / UDP フィルタを適用します。
 - ・Deny : 選択したプロトコルへの TCP / UDP フィルタを適用しません。
- ③「Secure Port」よりポートを選びます。
 必ず接続先のサーバが安全であることを確認してください。
 この機能がいったん可能になると、本製品は接続先の WAN ポートの TCP / UTP ポートナンバーをチェックします。
- ④ 「Protocol」より適用するプロトコルを選びます。
- ⑤ [Update] をクリックします。

Administrator Dort Management	TCP/UDP Fi	Iter Configuration			Ē						
VLAN Setting											
Per Port Counter	Function Enable	unction Enable Disable -									
QoS Setting GoS Setting MC Address Binding TCP/UDP Filter Spanning Tree Trunking	Port Filtering Rule	Dery "Dery means the outgoing packets to the selected port with selected protocol will be dropped and other protocols will be forwarded. Filtering Rule All of the selected protocol will be forwarded and other protocol will be dropped. Note: 1. The secure WAN port should be set at the physical port which is connected to the server. 2. Once this function is enabled, the switch will check the destination TCP/UDP port number at the outgoing direction of the secure WA If the condition matches, this packet will be dropped.									
Backup/Recovery	Course Doct	Port01	Port02	Port03	Port04						
Miscellaneous	Secure Pon	Port05	Port06	Port07	Port08						
₽ Logout		■ FTP	SSH .	TELNET	■ SMTP						
		DNS	TFTP	III HTTP	POP3						
		NEWS	SNTP	NetBIOS	■ IMAP						
	Protocol	SNMP	TTPS	XRD_RDP	BOOTP/ DHCP						
		User~ defined A TCP/UDP	■User~ defined B TCP/UDP	defined C TCP/UDP							
		Update									
		Ν	Note:The description of Secure WAN	l port is shown below.	-						

Spanning Tree

本製品のスパニングツリー機能に関する設定ができます。

本設定階層には、さらに以下の2項目の階層があります。

• STP Bridge Settings

• STP Port Settings

STP Bridge Settings

ここではパケットが循環による通信障害を防止することができます。

- ① 「STP Mode」を「Disable」/「STP」/「RSTP」から選びます。
- ② 「Bridge Priority」よりブリッジの優先値を設定します。
- 「Hello Time」よりパケットの期間を設定します。 ルートブリッジ構成メッセージの間に期間を供給します。
- ④ 「Max Age」を設定します。
 現在のコンフィグレーションメッセージが削除されるべきであるかどうかの時間を設定します。
- ⑤ 「Forward Delay」時間を設定します。
- トポロジー変化後の新しい状態が移行する前のブリッジの待ち時間の長さを提供します。
- ⑥ [Submit] をクリックします。

Administrator	STP Brid	ae Settin	as					
* Port Management		g	.9-					
VLAN Setting								
Per Port Counter		ST	P Bridge Sta	tus				
QoS Setting		Bridge	Hello Time	Max Age	Forward			
Security	STP Mode	Priority			Delay			
Spanning Tree		(0~61440)	(1"10 Sec)	(6"40 Sec)	(4~30 Sec)			
 STP Bridge Settings 		-	2	20	15			
STP Port Settings			Submit					
Trunking	Note: 2*(Forw	Note: 2#(Forward Delay-1) >= Max Are.						
Backup/Recovery								
Miscellaneous	Max Age >= 2	≉(Hello Time+1)						
Logout								
				STP Brid	ge Status			1
	STP Mode	Bridg	ge ID	Hello Time	Ma× Age	Forward Delay	Root ID	
	RSTP	32768:00 22	CF 03 4D A0	2	20	15	I'm the root bridge!	
								-

STP Port Settings

ここではスパニングポートの設定を行います。

- ① 「Port No」よりポートを選びます。
- ② 「Priority」より優先値を設定します。
- ③ 「RPC」を入力します。「AUTO」にするときは「0」を入力します。 ここでの設定はループを見付けたとき、STP/RSTP は経路の値を算出します。
- ④ [Submit] をクリックします。

1/1 All Cotting							
VLAN Setting							
Per Port Counter		STP Port Se	ettings				
QoS Setting	Port No	Priority	RPC (Root P	ath Çost)			
Security		(0 240)	(1 20000	(0000			
Spanning Tree							
STP Bridge Settings		Submit					
 STP Port Settings 							
Trunking							
Backup/Recovery				ST	P Port Status		
Miscellaneous	Port No.	RPC	Priority	State	Status	Designated Bridge	Designated Port
	1	Auto(200000)	0x80		Disable]
	2	Auto(200000)	0x80		Disable		
	3	Auto(200000)	0x80		Disable]
	4	Auto(200000)	0,80	Designated Port	Forwarding		
	5	Auto(200000)	0x80		Disable		
	6	Auto(200000)	0%80		Disable		
	7	Auto(200000)	0%80		Disable		
	8	Auto(200000)	0x80		Disable		

Trunking

本製品の Trunk 機能に関する設定を行います。

Link Aggregation Settings

最大2グループ(グループあたり最大4ポート)作成可能です。

Administrator	Trunking									
Port Management										
VLAN Setting	(r)									
Per Port Counter	System Priority				1 (1~65535)					
QoS Setting	Link Aggregation Algorithm				MAC Src8Dst 👻					
Security			S	ubmit						
Spanning Tree	Notice: If any trunk group	is set t	o LACP	type, e	each por	t in the	trunk g	oup will	not be	
Trunking	enabled(can't Forward/Red	eive) u	ntil the p	oort ca	n finish l	_ACP p	rocedure	e with it	s link	
 Link Aggregation Settings 	partner port.									
Backup/Recovery										
Miscellaneous	Retresh									
Logout										
			Link G	roup 1			Link G	roup 2		
		P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8	
	Member		V		7			7		
	State Disable - Disable -									
	Туре		LAC	Р 🔻			LAC	••		
	Operation Key	1		(1~6553)5)	2		1~6553	5)	
	Time Out	Time Out Short Time Out - Short Time Out -								
	Activity	Activity Passive -				Passi	ve 👻			
			S	ubmit						
										ul di seconda di second

Backup/Recovery

設定情報のバックアップ・読み込みを行います。

バックアップ

[Download] をクリックし、設定ファイルを保存します。

リカバリ

- ① バックアップした設定ファイルを指定し、本製品に設定されているパスワードを入力します。
- ② [Update] をクリックします。
- ③ 「Update Successfully!!」が表示されたら、「Reboot」をクリックし本製品を再起動します。

Miscellaneous

その他の機能に関する設定を行います。

Miscellaneous Setting

- ・Output Queue Aging Time :キューのエージング時間を設定します。
- ・VLAN Striding :「VLAN Striding」機能の有効/無効を設定します。
- ・IGMP Snooping V1 & V2 :「IGMP Snooping V1 & V2」機能の有効/無効を設定します。

設定の変更を反映するときは [Update] をクリックします。

Administrator	Miscellaneous :	Setting					
Port Management							
VLAN Setting		Output Oueue Aging Time					
Per Port Counter	Output Queue Aging Time						
QoS Setting	Aging time	Aging time The output queue aging function allows the administrator to select the aging time of a packet stored in the output queue. A packet stored in the output queue aging function allows the administrator to select the aging time of a packet stored in the output queue.					
Security	115	the supplication of a long time the love participation, resulting in the poor distribution of the baller and the poor owner performance.					
Spanning Tree		VLAN Striding					
Trunking	VLAN Striding	When this function is enabled, the switch will forward a uni-cast packet to the destination port. No matter whether the destination port is in the					
Backup/Recovery	Disable 👻	same VLAN group.					
Miscellaneous		IGMP Snooping V1 & V2					
> Logout	IGMP Snooping Disable IGMP Snooping V1 & V2 function enable						
	Update						

Logout

本製品の WEB インターフェースからログアウトします。

ログアウトするときは、「Logout」をクリックします。



製品仕様

機能	
	IEEE802.3: 10BASE-T
	IEEE802.3u: 100BASE-TX
	IEEE802.3x:フローコントロール
	IEEE802.3at : Power over Ethernet(PoE+)
	IEEE802.3ad : Trunk(Link Aggegation)
対応規格	IEEE802.1g : VLAN(Port Based and Tag Based)
	IEEE802.1p : Class of Service, Priority Protocols
	IEEE802.1x:ユーザ認証
	IEEE802.1d : Spanning tree
	IEEE802.1w: Rapid Spanning Tree Protocol
	RJ-45 コネクタ× 8:10BASE-T、100BASE-TX
ボート構成	(オートネゴシエーション、AutoMDI/MDI-X 対応)
	UTP/STP LAN ケーブル
ネットワークケーフル	10Mbps:カテゴリ 3 以上、100Mbps:カテゴリ 5 以上
パケットバッファ	1.625Mbits
スイッチングファブリック	1.6Gbps
MAC アドレス登録数	4,000 個(全ポート合計)
$7 + -\gamma + (64D)$	10BASE-T:各ポート 14,880 パケット / 秒
XIV-JYF (04byte)	100BASE-TX:各ポート 148,800 パケット / 秒
フローコントロール	全二重:IEEE802.3x、半二重:バックプレッシャー
νίαν	TagVLAN,Port-Based VLAN
	TagVLAN PVID 範囲:1~4094
	4レベル
QoS	対応アルゴリズム:FIFO ,WRR ,High before low
	対応 QoS 方式: Port Base ,Tag Base ,Diffserv ,TCP Port No.
PoE	給電容量:30W/ボート (全ポート合計:125W)、給電方式:TypeA、ON/OFF 切
Irunk	最大4ボート、2クループ
ホートミフーリンク	
マルナキャスト	
スパーフクツリー	SIP/RSIP
ハートウェア	Deset
	Resel
	POWER、LINK/ACL、POE
	ACTOUV 50/00HZ
	取入 I SUW 約 266 (M) X 44 (U) X 160 (D) mm
	がJ 200 (W) × 44 (H) × 100 (D) mm
	約 1.8Kg
動作時環境	/血反・0/~40し 泪
	小/ 反・33 / ~ δ3 / ~ (桁路なさしと) 月 中・ 20 ⇔ 70℃
保管時環境	/血反・-20~ /Uし 泪庇・10~,000/ (炷壺たキェレ)
雨泊云,雨舟	
- 収待承応規格	LECTED LASS ACTION LASS A

その他		
設定方法	WEB ブラウザ	※ Internet Explorer を推奨
保証期間	1年間	

※設定を行うブラウザは、Internet Explorer を推奨します。それ以外のブラウザでは画面が正常に表示されない場合があります。

※ IEEE802.3at(Type2) を利用する場合は、カテゴリ 5e 以上の LAN ケーブルをご使用ください。

※ IEEE802.3af 対応機器も利用可能です。

※製品仕様は予告無く変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

最新情報は、弊社ホームページ(http://www.planex.co.jp)を参照ください。

ユーザ登録について

このたびは弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。弊社では、製品をお買い上げいただいたお 客様にユーザ登録をお願いしております。

ユーザ登録を行っていただいたお客様には新製品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン情報等さまざまな情報を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザサポートをお受けになるにはお客様のユーザ登録が必要となります。ユーザ登録の際は、ホームページ掲載の「個人情報保護方針について」をご確認後、ユーザ登録を行ってくださいますようお願いいたします。

ユーザ登録は下記弊社ホームページ上で受け付けております。

http://www.planex.co.jp/user/

弊社へのお問い合わせ

■製品に関するお問い合わせ

製品購入前のご相談や、ご質問は弊社専任アドバイザーにお任せください。 ネットワーク導入やシステム構築・拡張など、お客様のお手伝いをいたします。

<ご質問 / お見積もりフォーム>

http://www.planex.co.jp/lan.shtml

■技術的なお問い合わせ・修理に関するお問い合わせ

製品購入後のご質問は、弊社サポートセンタまでお問い合わせください。 豊富な知識をもったサポート技術者が、お客様の問題を解決いたします。

くお問い合わせフォーム>

http://www.planex.co.jp/support/techform/

. <電話>

サポートダイヤル:0570-064-707

受付:月~金曜日、10~12時、13~17時

*祝祭日および弊社指定の休業日を除く

< Fax >

ファクス番号:0570-088-194

受付:24 時間

◇お問い合わせ前のお願い

サポートを円滑に行うため、お問い合わせ前に以下のものをご用意ください。

お客様のご協力お願いいたします。

- ・ 弊社製品の製品型番とシリアルナンバー
- ・ ご利用のパソコンの型番とオペレーティングシステム名(Windows Vista/XP など)
- ご利用のネットワーク環境(回線の種類やインターネットサービスプロバイダ名など)
- ・ご質問内容(現在の状態、症状など。エラーメッセージが表示されている場合はその詳細を書きとめてください)

■その他

その他のお問い合わせ先は、弊社ホームページからお確かめください。

プラネックスコミュニケーションズ

http://www.planex.co.jp

質問表

技術的なご質問は、この2ページをプリントアウトし必要事項をご記入の上、 下記FAX番号へお送りください。

プラネックスコミュニケーションズ テクニカルサポート担当行

FAX: 0570-088-194

送信日: _____

会社名		
部署名		
名前		
電話	FAX	
E-MAIL		

型番 Product No.	SWE-0008F5
製造番号 Serial No.	

① ご使用のコンピュータについて

メーカー	
型番	

2 OS

OS	SP
----	----

③ 質問内容

_ _____

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

DA130920-SWE-0008F5_manual_V1.pdf